# 丽萎縫合早期瘉合症

(狭頭症)



ずがいほうごうそうきゆごうしょう きょうとうしょう 頭蓋縫合早期癒合症(狭頭症)

頭蓋骨には、赤ちゃんの頃から 20 歳くらいまで 骨縫合といわれる骨の継ぎ目があります。

この部分に新しい骨ができていくことで、頭蓋骨が 大きくなります。

原因がないのに、この骨縫合が早期(=小児期)に 閉鎖してしまい、頭蓋骨が大きくなれない状態を 頭蓋縫合早期癒合症(狭頭症)と呼びます。

# 【症状】

閉鎖してしまった骨縫合により、頭蓋骨が特徴的な形になります。

たんずがい かんじょうほうごう (知頭蓋 :両側冠 状縫合の早期癒合で、

頭の前後径が短くなります。

○舟 状頭蓋:矢状縫合の早期癒合で、前後径が長くなります。

○斜頭蓋 : 片方の冠状縫合の早期癒合で、おでこに

左右差があり頭蓋が斜めに歪んだ形になります。

○三角頭蓋:前頭縫合の早期癒合で、

額が狭く船首状に突出します。

これらの形態変化に加え、頭痛・発達障害などの 機能的な障害が起こります。



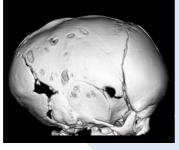
## 【診断】

診察と頭部の CT で診断できます。

さらに、基礎疾患を調べるために MRI や遺伝子の検

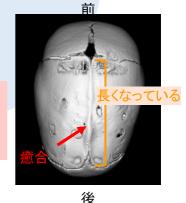
査を行うこともあります。





前





▲ ▶ 狭頭症の 3 次元 CT:

矢状縫合の早期癒合症があり、頭が前後に 長くなり舟状頭蓋を示します。

### 【治療】

頭蓋骨を拡大し、脳の入る容積を広げる手術をします。

- 1回で手術する方法と、骨延長器と呼ばれる器械を用いて
- 1日に数ミリずつ徐々に骨を広げる方法があります。

手術法は、ひとりひとりの頭の形や年齢・骨の厚さに 合わせて最適なものを選びます。複数回の手術が必要に

なる場合もあります。



地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター

<脳神経外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840 患者支援センター TEL 0725-56-1220 FAX 0725-56-5605